

ArkGioia

株式会社アーク・ジョイア

東京都文京区音羽 1-1-7

正進社ホールディングスビル 4F

Tel: 03-6902-0480

2016年6月吉日



ヴォクサティヴ社

新製品発売のご案内

お客様各位

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り篤く御礼申し上げます。

さて弊社ではバックロードホーン型スピーカー・システム“Ampeggio Signature”でその名を知られるドイツ・ヴォクサティヴ社の新製品真空管アンプ“T-211”および“T-211 OT”を発売致しますのでご案内申し上げます。

“T-211”は大型三極管である“211”を使用した真空管アンプ、“T-211 OT”は“T-211”的出力トランジスタよりグレードアップしたモデルとなります。

つきましては別紙資料をご高覧賜わり、ご試聴、ご検討いただければ幸いに存じます。

敬具

記

■ブランド名	Voxativ (ヴォクサティヴ／ドイツ)
■製品名	真空管インテグレーテッド・アンプリファイア
■機種名	T-211、T-211 OT
■希望小売価格	T-211 1,750,000円(税別) T-211 OT 1,950,000円(税別)
■発売日	2016年(平成28年) 6月 10日



概要

2008年、ドイツ・ベルリンに設立されたVoxativ社は同社の開発したバックロードホーン型スピーカー・システム「Ampeggio Signature」がStereophile誌の最高賞である「PRODUCTS of the year 2011」に選ばれたことで一気にその知名度を上げました。

開発者であり同社の創始者であるアドラー氏は、バックロードホーン型スピーカー・システムに最適な真空管アンプの開発に予てより情熱を注いでおり、多くの試行錯誤の未完成したのが新製品“T-211”と、出力トランスに日本製ハイグレード・トランスを用いた“T-211 OT”です。

“T-211”はメインの出力管には本機のモデル名にもなっている大型三極管「211」を、増幅管には「6SN7」と「6SL7」を使用したステレオ・インテグレーテッド・アンプです。

かつて回路技術が発達しておらず、電子部品の品質も満足いくものが少なかった時代に性能の良い増幅器を製造するには真空管の性能に頼るしかありませんでした。三極管自身の性能を高め、極限まで追及した真空管が「211」です。

三極管が発明された1906年から100年以上経つ今なお傑作として名高い「211」を使用したインテグレーテッド・アンプから奏でられるサウンドは、まさに三極管シングルアンプの究極と言つても過言ではないでしょう。

音質を大きく左右する出力トランスは2種類から選択が可能で、日本製ハイグレード・トランスを採用したモデルが“T-211 OT”です。サウンド・クウォリティの重要な要素となるトランスが高精度かつ高精細になることで、“T-211”的性能が極限まで発揮されます。

入力系統3系統、プリ出力1系統(アンバランス・RCA)を備え、スピーカー出力は8Ωと16Ω両対応となっており、様々な機器との組み合わせが可能です。

入力切替スイッチ、ボリュウムコントロールにはアルミブロック削り出しφ110mmの超大型コントロールを使用。

滑らかな操作と細やかなコントロールはもちろんのこと、操作する際のダイナミックさと満足感は他の追随を許さない造りとなっています。

キャビネットは63キログラムに及ぶアルミブロックを削り出した1ピースのアルミハウジングを、腐食や摩耗に強く外観も美しいアルマイト処理を施したブラックマット仕上げとなっています。

ArkGioia



製品仕様

■形式	真空管ステレオ・インテグレーテッド・アンプ
■回路形式	211 A級シングル回路
■入力	アンバランス(RCA) 3系統
■出力	スピーカー出力(8Ωまたは16Ω) 1系統 プリ出力 アンバランス(RCA) 1系統
■真空管	出力管: 211×2 増幅管: 6SN7×2、6SL7×2
■周波数応答	20~20,000Hz(-1dB)
■S/N 比	100dB
■歪率	1%
■入力感度	520mV
■出力	14W/ch
■消費電力	200W
■寸法	W430×D470×H250mm
■重量	45kg
■希望小売価格	“T-211” 1,750,000円(税別) “T-211 OT” 1,950,000円(税別)

ArkGioia

Voxativ
PURE LISTENING.

製品写真



前面



斜め俯瞰



真空管、左から 6SN7、6SL7、211



背面

ArkGioia